



平成20年 2月 1日

原子力安全対策室

担当者 長谷川

内線 1880 直通 0952-25-7081

E-mail:

hasegawa-sadamu@pref.saga.lg.jp

玄海3号機用MOX燃料製造過程における試験用部品の使用についての知事コメントを発表します

九州電力から、玄海3号機用としてフランスのメロックス工場で製造されたMOX燃料棒について、試験用の部品が使用されていたとの連絡がありました。

当該試験用の部品については、九州電力において、品質上の問題が無いことを改めて確認されており、安全性に影響を与えるものではないものの、県としては、今回の事案は、三菱重工業とメロックス社の間で製造工程に関する適切な情報の共有が図られず、結果として、燃料棒に使用しないはずの試験用部品が使用されたということであり、大変遺憾なことで受け止めています。

今回の事案は、三菱重工業が同社の品質保証活動の中で、不適合事象を発見したものであり、品質保証の仕組みが適切に機能していること、また、九州電力においては、情報公開の徹底、透明性の向上の観点から、不適合事象が判明した後、直ちに原因究明と対応策を検討し、速やかに公表したことは、一定評価できるものと考えています。

原子力発電、プルサーマルに関することについては、県民の皆様には不安を与えるようなことがないように慎重に対応されるべきものと考えています。

このため九州電力に対しては、燃料棒の部品取替を確実に実施することは当然ながら、日仏のメーカー間で認識の齟齬などが発生しないよう、指示内容について再度確認するなど、再発防止対策に万全を期すとともに、県民の皆様に対し、今回の事案の原因と対応策をきちんと説明していくことを強く求めています。